

農学部 1年

有田 将人

オランダ

2018年8月22日-

2018年9月13日



渡航概要と内容

私はオランダで盛んにおこなわれているケアファームを調査し、日本に導入するための方策を探るという目的で渡航しました。具体的には2つのケアファームを回りオーナーの方やスタッフの方へのインタビューと実際に行われている農作業などの体験をしました。2つとも農家で高齢者や精神病患者の方などが楽しそうに汗を流し農作業をしておられました。1つ目の農家では広い農地を使って玉ねぎやジャガイモなどの幅広い種類の野菜が育てられていました。参加者の方は雑草を抜いたり野菜を収穫したり鶏小屋の清掃をしたり様々な作業をしておられました。彼らは「この農場で農作業をすることはとても健康に良いし充実した毎日を送れている」と楽しそうに話してくれました。また農場のオーナーにお話を伺ったところ様々な話をしていただきました。例えば「この農場は政府から補助金をもらい活動を行っているがその補助金が十分ではない」などと話していただきました。2つ目の農場ではよりデイケアのほうに力が入られていました。この農場では参加者の方は午前中は農作業を行い午後は参加者同士でトランプゲームをしたりして楽しんでいました。この農場のオーナーの方もたくさん私に話してくれました。例えば「この農場を始めるには手続きなどが複雑で始めるまでに困難が多かった」などと話していただきました。

渡航中に日本との文化の違い等から苦労したことはたくさんあります。まずはトイレに困りました。オランダには日本のようにあちこちにトイレがあるわけではなくトイレを見つけるのに苦労しました。またトイレがあったとしてもほとんどの公共トイレでコインが必要で紙幣はあるのにコインがないためにトイレを使えなかったこともあり大変でした。またスーパーなどでスプーンやフォークをもらおうと思っても無料でもらえず困りました。日本だとお箸やスプーンを無料でつけてくれるのでその感覚で「スプーンください」というと店員さんに不思議な顔をされて「スプーンの売り場はあそこだけど」といわれてその時文化の違いを知りました。総じて日本で

はオランダと比べてたくさんの方が無料で手に入るなと思いました。公共トイレにしろ、スーパーやフォークにしろ、また安全や清潔さなどもです。

大きなトラブルといえば駅で怪しげな人に声をかけられたことです。駅で券売機でチケットを買おうとしていると男の人が近づいてきてチケットを安く買ってきてあげるからお金をくれといわれました。しかし僕はその時に怪しいと感じたのでその人の相手をせず何事もありませんでした。またこれはあまり大きなトラブルではないのですがバスを乗り間違えることはよくありました。バスに乗る時も車掌さんに聞いたら目的地の駅に着くといわれたから乗っていたのに結局そのバスは全然違う方向に行っていたりバス停ごとにアナウンスがなくて乗り過ごしたりすることがありました。だからそのための解決策として最初からバスの一日券を買っておくということをしていました。一日券なら少々割高ですがそういうトラブルがあったときも融通がきくなと思ったからです。ほかにも細々としたトラブルはありましたがそのたびにそれにどう対処するのかを考えるのが楽しくなってきた最後のほうはトラブルを少し楽しめるようになりました。

■ 渡航を通じて感じたこと・学んだこと

今回の調査を通してやはりケアファームの導入が日本に効果的であることが分かりました。実際に認知症患者の方がファームで活動することによって病気の進行が遅くなったと話しておられました。また精神病患者の方も私がオーナーの方に教えてもらうまでそうだとわからなかったほど元気に活動しておられました。またオーナーの方も人手が増えたことでたくさんの土地を耕せるようになったと喜んでおられました。しかしそれと同時に日本にケアファームを導入するには様々な障壁があることが分かりました。まずは国からケアファームを行う農家に送られる補助金を受領するための手続きの複雑さです。手続きの複雑さゆえに農家がケアファームを行うのをためらうこともあるそうです。このことから日本での積極的な導入を目指すにはなるべく手続きを簡略化することが求められそうです。またオランダでは補助金の少なさも問題になっていました。補助金が少ないからケアファームを行わずに農業だけをやるほうが財務的には良いこともあるそうです。日本の財務状況も決して良好とはいえないでしょう。このことからケアファームを導入する場合いかに補助金の分のお金を用意するかを考えなければならないことも分かりました。

渡航を通じて感じたことはオランダの方も案外僕ら日本人と変わらないなということでした。行く前は日本から大変地理的に離れていることもあり僕のような日本人とは何もかも違うのだろうなと思っていました。しかし実際に会って話してみるとそうではないことが分かりました。僕が面白いなと思ったときは彼らも笑っていましたし僕が疲れたときは彼らも疲れていて、今考えたらそんなこと当たり前かもしれないけどそういったことが大変新鮮でその都度うれしかったです。そしてだからこそ自分とオランダの心の距離が近くなった気がします。

■ 今回の経験をどのように今後生かしていくか

今回の渡航で学べたことは先述した通りたくさんありました。日本にケアファームを導入するうえでの問題点を調べることができたのでその点をどのように改善していくかを今後考えていきたいと思います。

また今回の渡航でより海外に対する興味が湧きました。今回した失敗も生かして次回海外に行くときはより良いものにしたいです。

■ 今後本プログラムを希望する学生へのアドバイス

このプログラムは海外に行くときの一番の障壁である金銭面の問題をなくしてくれます。ぜひこの機会を生かして海外に飛び出してください。

■ 主な奨学金の使途

*交通費

*滞在費

*食費

*海外旅行保険料 など

